

“教育のゲーミフィケーション”を具現化！クラウド型学習システム「すらら」 群馬初！私立高校と学習塾が連携した英検対策指導を開始 「すらら」導入高校と学習塾が連携し、増加する英検取得のニーズに対応

株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：湯野川孝彦 以下、すららネット）が展開するクラウド型学習システム「すらら」を導入する、わせがく高等学校 太田キャンパス（通信制）（所在地：群馬県太田市 以下、わせがく高等学校 太田キャンパス）と太田新島学院（所在地：群馬県太田市）が、群馬県で初めて私立高校と学習塾が連携した英検対策指導を2015年8月5日（水）より開始します。

「すらら」を導入している、私立高校のわせがく高等学校 太田キャンパスと学習塾の太田新島学院による英検対策指導は、「すらら」を活用した高校の英検対策授業と学習塾での面接対策講座を、「すらら」を軸に連携し、2次面接がある級を受験予定の生徒のうち希望者を対象に実施します。

具体的には、太田新島学院の面接対策講座（週1回通塾）では、講師が「すらら」の管理画面を使い、生徒の学習内容を確認したうえで指導することで、例えば、生徒の自信創出のために得意分野の知識で答えられる質問をしたり、反対に生徒の弱点分野を重点的に鍛える質問をする等、個々の生徒に最適な面接指導を実施します。

さらに、面接対策講座を通じて学習の必要性を感じた箇所については、「すらら」の学習管理画面を通じて直接生徒に指導します。

生徒は、その学習指示に従い、わせがく高等学校 太田キャンパスの英検対策授業内ならびに家庭で学習を進めます。

近年、わせがく高等学校 太田キャンパスでは、進学のために資格取得を目指す生徒が増加傾向にありましたが、ニーズの高い英検の面接対策においては対応が難しく有効な指導体制の整備が課題となっていました。一方、太田新島学院は、「すらら」を主な教材として取り入れ、2014年に開講した地域密着型の学習塾で、教室長の英語指導力と空き時間の有効活用の方法を模索していたことから、すららネットが両者を繋ぎ、今回の学校と塾との連携による英検対策指導を実施するに至りました。

今後もすららネットでは、皆様にニーズに沿った教育サービスの提供と、「すらら」を導入いただいている学校・学習塾の問題解決に向けた更なるサポートができるよう、サービス開発に力を入れてまいります。

【英検対策指導 概要】

○太田新島学院 面接対策講座

初回：8月5日（水）13時30分

※毎週水曜日13時30分～14時30分（60分）で、2015年度 第2回英検二次試験日である11月8日（日）まで実施

○わせがく高等学校 太田キャンパス 自学型（通信制）英検対策授業

生徒の目標に応じて、先生が「すらら・英検対策コース」から個別に学習箇所を指示する。

生徒はその指示に基づき、学校や家庭でパソコンを使って学習する。

普段は、火・木曜日：14時20分～15時、水曜日：13時30分～15時に授業のコマを設置しており、そこに参加し皆と一緒に学習したり、先生に質問をしたりすることが出来る。

（7月19日～9月7日の期間は夏休のため該当授業の実施はなし。）

2級取得をゴールとしており、必要に応じて参考問題集なども活用している。

■クラウド型学習システム「すらら」とは

【学習範囲】 小学校高学年～高校3年生までの学習指導要領に準拠

【対応教科】 英語・数学・国語

【利用者数】 約 30,000 名 (2015 年 4 月末現在)

【特徴】

○Point 1 スモールステップでわかりやすいインタラクティブ授業

1つの単元は10から15分程度で、小さな階段を少しずつ上るような構成。

しかも授業は一方的ではなく、随所で先生役のキャラクターが問いかけを行い、問題に答えていくというインタラクティブスタイル。そのため、飽きることなく、適度な緊張感を持続し、楽しみながら学習を進めていくことが可能。

○Point 2 難易度調整や弱点診断ができる演習ドリル

一人ひとりの理解度に応じて出題される問題の難易度を調整する「出題難易度コントロールシステム」を搭載。「簡単すぎず難しすぎない」問題が出題されることで、達成感を感じ自信を深めながら、学習を進めることが可能に。また、何がわからないから問題が解けないのか理由を探る「弱点自動判別システム」も搭載。

○Point 3 現役の塾の先生による手厚いフォロー

いつまでどこまでの学習をするかといった「月1回の目標設定」や、つまづいているところがないか「週1回程度の電話やメールでの進捗確認」など、継続して取り組めるよう現役塾講師がフォロー。また、クラウド型学習だからこそ、学習内容や正答率・解く速さなども詳細に把握できるので、お子様一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導が可能。

<参考>これまでのeラーニング教材の大半は以下の3パターン

1. 動画配信型：カリスマ講師のレクチャービデオを視聴するタイプ
「理解」にはすぐれているが「反復」の部分がないためやりっぱなしになってしまい、実力が身につかない傾向がある。また、一方的な説明となるため、比較的意識の高いお子様でない、集中力が続かない。
2. 問題集型：問題集の結果をパソコンに打ち出して結果分析をするタイプ
「定着」にすぐれているが「理解」の部分がないため、学力の高い生徒でない、一人で学習を進めることが困難な傾向がある。
3. ゲーム型：携帯用ゲーム機などを使って学習するタイプ
非常に楽しく学習できるが、単語など反復による暗記系が中心で、体系的な学習には不向き。

「すらら」はこうしたそれぞれの短所を補い、長所を相乗効果的に組合せた、理想の"次世代型教育システム"です。

■すららの「ゲーミフィケーションの要素」

- ①他のユーザーと「総学習時間」や「クリアユニット数」で競い合う緊張感
- ②キャラクターによる対話形式で根本理解を深める本格的なレクチャー
- ③ドリルパートにて、生徒ごとにカスタマイズされた問題を解き、各ステージをクリアするという快感



努力指標（学習時間・クリアユニット数）におけるランキング

学習レベル：「累計総学習時間」「累計総クリアユニット数」によって自分のステータスが、ランクアップする仕組み

今日の目標一覧：自分or先生が設定した目標ユニットが表示される

クリアユニット数の推移

■株式会社すらら ネット 会社概要

- 設立：2008年8月 ○ 資本金：13,795万円 ○ 所在地：東京都千代田区内神田
- 事業内容：クラウド型学習システムによる教育サービスの提供および運用コンサルティング、マーケティングプロモーション及びホームページの運営
- 会社 URL： <http://surala.jp/>